



なかしん

中小企業景況レポート

No.5 中栄信用金庫 経営相談室

平成24年10月～12月実績と平成25年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 平成24年12月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市
 調査企業数 254社
 回答企業数 244社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	70	68	97.1
卸売業	21	21	100.0
小売・飲食業	50	45	90.0
サービス業	36	34	94.4
建設業	42	41	97.6
不動産業	35	35	100.0
合計	254	244	96.0

◆10月～12月期の概況

～景況感は▲24.6と厳しさは続く～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は▲24.6を示し前回調査（平成24年7月～9月期）に比べ2.0ポイントの小幅改善となりました。これは、前回調査時では、影響が十分反映されなかった日中関係悪化に伴う受注の減少、仕入価格・原材料価格の高止まり等の景気押し下げ要因を年末需要等の季節的要因が僅かに上回った結果であり、米国経済の財政の崖問題や欧州問題再燃、消費増税法の成立等、景気の不透明感は根強く、景況感は依然として厳しい状態が継続しているものと思われます。

項目別にみると、売上実績D.I.は前回調査比13.4ポイント改善の▲6.1、収益実績D.I.は前回調査比15.6ポイント改善の▲11.4となっております。資金繰りについては前回調査比1.8ポイント改善の▲23.7、人手不足については、▲13.1と不足感は強まっております。

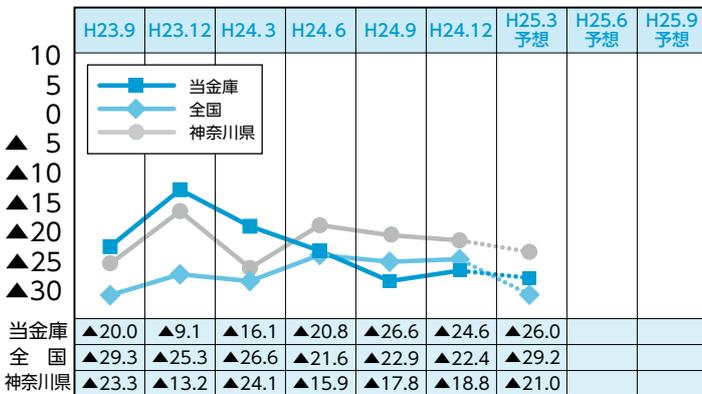
また、業種別の景況感は、不動産業が8.9ポイント改善し▲2.8、建設業が7.8ポイント改善し12.5、小売・飲食業が6.7ポイント改善し▲42.2となるものの、卸売業が18.5ポイント悪化の▲28.5、サービス業が1.7ポイント悪化の▲29.4、製造業が1.2ポイント悪化の▲42.6と、建設業以外は依然として業況判断はマイナス域が続いております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業の業況判断D.I.は、前回調査からほぼ横這いの▲22.4、神奈川県内は、1.0ポイント悪化の▲18.8となっております。（全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は1.4ポイント悪化の▲26.0、売上額D.I.の予想は10.7ポイント悪化の▲16.8、収益D.I.の予想は6.6ポイント悪化の▲18.0と予想されております。業種別では、小売・飲食業、サービス業、不動産業は改善見込み、製造業、卸売業、建設業は悪化の見込みと業種間でばらつきが見られ、新政権による景気対策効果や消費税率の引上げによる影響等、景気の先行きが不透明なことから、建設業、不動産業以外はマイナス域が続く見通しとなっております。

業況判断D.I.値（全業種）



業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調

全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

製造業

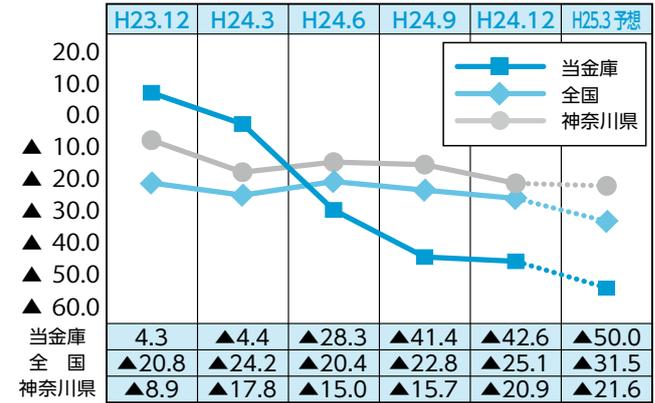
●概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 1.2 ポイント悪化の▲42.6 と 4 期連続の悪化となりました。項目別では、売上額 D.I. は 26.7 ポイント改善の▲16.1、収益 D.I. は 25.1 ポイント改善の▲22.0、資金繰りはほぼ横這いの▲29.4 となっております。エコカー補助金の終了、日中関係の悪化に伴う輸出の低迷やそれに伴う減産など、自動車部品関連業を中心に取引先からの受注減少を懸念する声が多く、依然として厳しい状況となっております。また一部企業においては、重点経営施策である販路拡大に向け、積極的に営業活動を行う動きも見受けられます。

なお、全国は 2.3 ポイント悪化の▲25.1 となっており、神奈川県は 5.2 ポイント悪化の▲20.9 となっております。

来期の予想業況判断は 7.4 ポイント悪化の▲50.0 と 5 期連続の悪化が予想されております。

●業況判断D.I.値



売上額

前期実績	14.3	28.6	57.1	D.I.	▲42.8
当期実績	25.0	33.9	41.1		▲16.1
来期予想	11.8	44.1	44.1		▲32.3
前年同期比	19.1	29.5	51.4		▲32.3

販売価格

前期実績	75.8	24.2	D.I.	▲24.2
当期実績	-3.0	77.6	19.4	▲16.4
来期予想	-1.5	80.6	17.9	▲16.4

在庫

前期実績	-11.5	84.2	4.3	D.I.	7.2
当期実績	-7.5	89.5	3.0		4.5
来期予想	-7.5	86.5	6.0		1.5

人手

前期実績	18.5	70.1	11.4	D.I.	7.1
当期実績	17.7	63.2	19.1		▲1.4
来期予想	17.7	63.2	19.1		▲1.4

収益

前期実績	8.6	35.7	55.7	D.I.	▲47.1
当期実績	23.5	31.0	45.5		▲22.0
来期予想	10.3	44.2	45.5		▲35.2
前年同期比	17.6	31.0	51.4		▲33.8

原材料価格

前期実績	-10.1	84.1	5.8	D.I.	4.3
当期実績	-10.6	83.3	6.1		4.5
来期予想	-9.0	82.0	9.0		0.0

資金繰り

前期実績	-7.1	55.8	37.1	D.I.	▲30.0
当期実績	-2.9	64.8	32.3		▲29.4
来期予想	-2.9	60.4	36.7		▲33.8

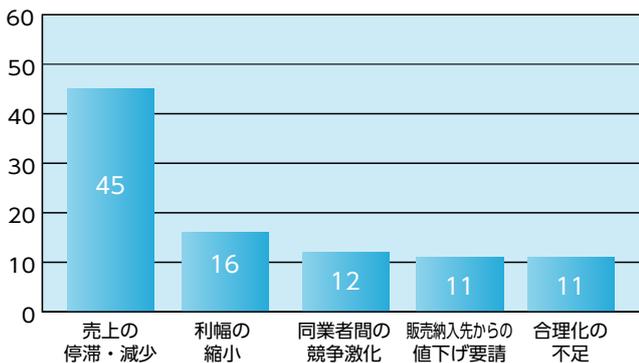
設備状況

前期実績	-11.4	75.8	12.8	D.I.	▲1.4
当期実績	-6.0	86.5	7.5		▲1.5
来期予想	-9.4	79.7	10.9		▲1.5

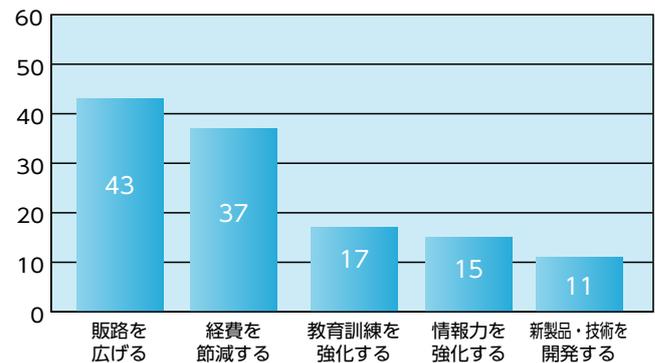
当期実績…24年10~12月期
来期予想…25年 1~3月期

□ 良い、増加、上昇、過剰、楽 □ 普通、変わらず、適正 □ 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

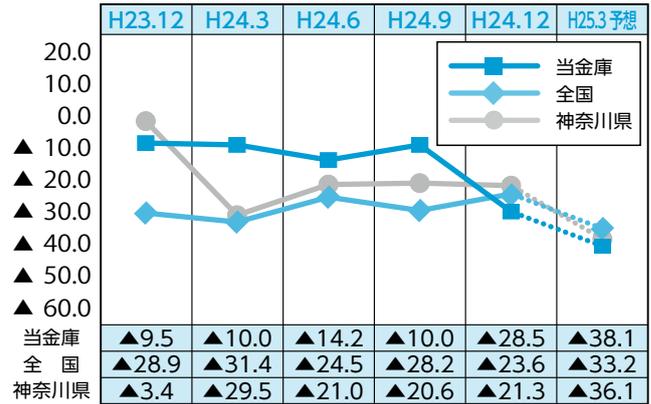
●概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 18.5 ポイント悪化の▲28.5 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前期に比べ 16.0 ポイント改善の▲19.0、収益 D.I. は 6.2 ポイント改善の▲23.8 となっております。年末需要により、一時的に売上・収益 D.I. は改善したものの、仕入価格は 5.0 ポイント上昇の 0.0 と上昇感が強まっていることに加え、取引先の業況悪化による未収入金の増加から、資金繰りは 22.8 ポイント悪化の▲42.8 となり、資金繰りが厳しい状況であることが窺える結果となっております。

なお、全国は 4.6 ポイント改善の▲23.6 となっており、神奈川県は 0.7 ポイント小幅悪化の▲21.3 となっております。

来期の予想業況判断は 9.6 ポイント悪化の▲38.1 と 2 期連続の悪化が予想されております。

●業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
売上額	-10.0 45.0	14.3 52.4	-4.8 61.9	14.3 42.9	▲35.0
					▲19.0
					▲28.5
					▲28.5

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
販売価格	-5.0 70.0	90.5 9.5	-4.8 85.7	14.3 38.1	▲20.0
					▲9.5
					▲4.7

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
在庫	-10.0 85.0	9.5 9.5	-9.5 81.0	14.3 38.1	5.0
					0.0
					0.0

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
人手	80.0	90.5 9.5	90.5 9.5	14.3 38.1	▲20.0
					▲9.5
					▲9.5

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
収益	-10.0 50.0	14.3 47.6	-4.8 61.9	14.3 38.1	▲30.0
					▲23.8
					▲28.5
					▲33.3

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
仕入価格	-10.0 75.0	-9.5 81.0	-4.7 90.6	14.3 38.1	▲5.0
					0.0
					0.0

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
資金繰り	80.0	-4.8 47.6	61.9	14.3 38.1	▲20.0
					▲42.8
					▲38.1

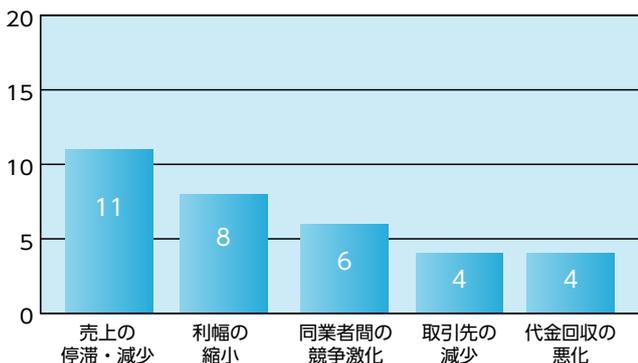
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
設備状況	94.2	95.0 5.0	95.0 5.0	14.3 38.1	▲5.8
					▲5.0
					▲5.0

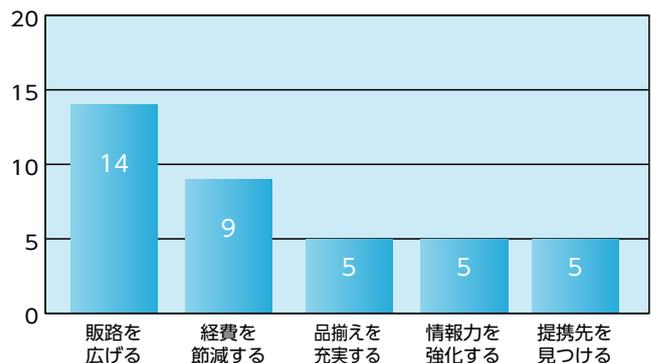
当期実績…24年10~12 月期
来期予想…25年 1~ 3 月期

□ 良い、増加、上昇 普通、変わらず 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

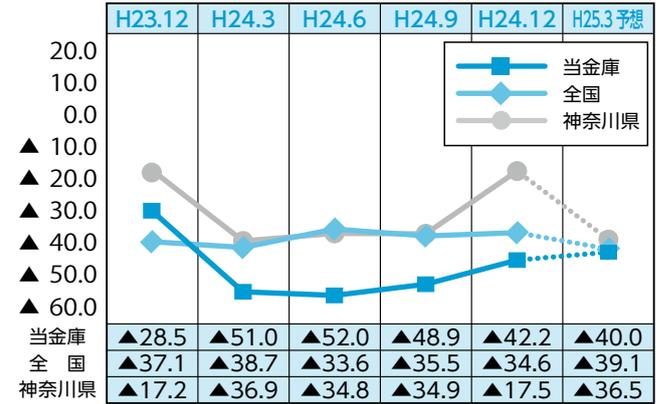
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 6.7 ポイント改善の▲42.2 と 2 期連続の改善となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 13.3 ポイント改善の▲11.1、収益 D.I. は 15.6 ポイント改善の▲8.8、資金繰りは 14.5 ポイント改善の▲22.2 となっております。年末に向けた消費の動きから、売上・収益 D.I. の改善が、業況の改善に繋がったものと思われます。一方、一部の小売業においては、競合店との競争激化に加え、大型店（生鮮スーパー）の新規出店により、顧客流出を懸念する声も多く、業況は依然としてマイナス域での推移となっております。

なお、全国は 0.9 ポイント小幅改善の▲34.6 となっており、神奈川県は 17.4 ポイント改善の▲17.5 となっております。

来期の予想業況判断は、▲40.0 と 2.2 ポイントの改善が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	18.4	38.8	42.8	▲24.4	▲24.4
当期実績	31.1	26.7	42.2	▲11.1	▲11.1
来期予想	20.0	31.2	48.8	▲28.8	▲28.8
前年同期比	20.0	24.5	55.5	▲35.5	▲35.5

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-10.2	77.6	12.2	▲2.0
当期実績	13.3	73.4	13.3	0.0
来期予想	-4.4	77.9	17.7	▲13.3

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	20.4	63.2	16.4	4.0
当期実績	15.5	71.2	13.3	2.2
来期予想	-6.7	77.8	15.5	▲8.8

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-6.2	63.2	30.6	▲24.4
当期実績	-8.9	66.7	24.4	▲15.5
来期予想	13.4	64.4	22.2	▲8.8

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	14.3	47.0	38.7	▲24.4	▲24.4
当期実績	28.9	33.4	37.7	▲8.8	▲8.8
来期予想	17.8	35.6	46.6	▲28.8	▲28.8
前年同期比	13.4	35.5	51.1	▲37.7	▲37.7

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	22.4	67.4	10.2	12.2
当期実績	13.3	82.2	4.5	8.8
来期予想	-8.9	77.8	13.3	▲4.4

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-4.1	55.1	40.8	▲36.7
当期実績	-4.4	69.0	26.6	▲22.2
来期予想	-4.4	60.1	35.5	▲31.1

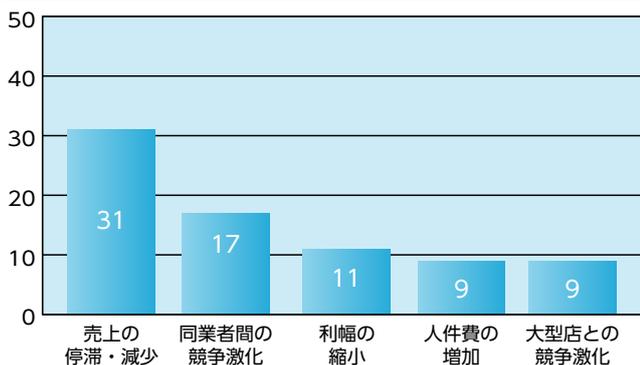
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-2.1	80.6	17.3	▲15.2
当期実績	-2.3	81.8	15.9	▲13.6
来期予想	-2.3	86.1	11.6	▲9.3

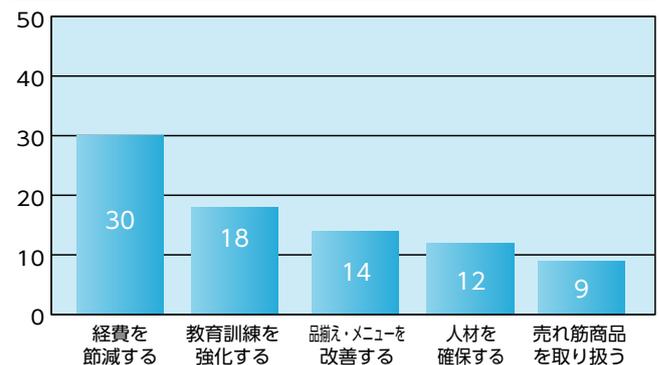
当期実績…24年10~12月期
来期予想…25年 1~3月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



サービス業

概況

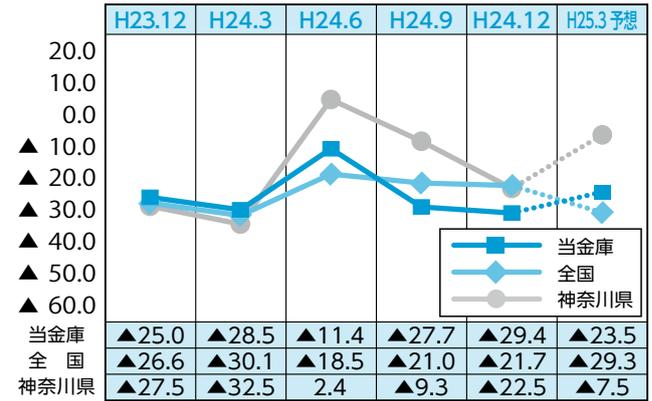
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 1.7 ポイント悪化の▲29.4 となりました。

項目別では、売上 D.I. は前回調査比 45.2 ポイント大幅改善の 14.7、収益 D.I. は 36.2 ポイント改善の 2.9、資金繰りは 9.8 ポイント改善の▲23.5 となっております。秋の観光シーズンや年末需要から、売上・収益 D.I. がプラスに転じる一方で、原材料価格の高止まりや季節需要の反動減への懸念等から業況改善には至らず、厳しい業況が続いております。また従業員教育により、サービス品質の平準化を行うなど、自助努力を図る企業も見受けられます。

なお、全国は 0.7 ポイント小幅悪化の▲21.7 となっており、神奈川県は 13.2 ポイント悪化の▲22.5 となっております。

来期の予想業況判断は、▲23.5 と 5.9 ポイントの改善が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	13.9	41.7	44.4		▲30.5
当期実績		38.2	38.3	23.5	14.7
来期予想		17.6	50.1	32.3	▲14.7
前年同期比		26.4	38.4	35.2	▲8.8

料金価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	-2.8	88.9	8.3	▲5.5	
当期実績		-5.9	85.3	8.8	▲2.9
来期予想			97.1	2.9	▲2.9

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	-5.5	55.7	38.8	▲33.3	
当期実績		11.7	53.1	35.2	▲23.5
来期予想		-5.9	64.7	29.4	▲23.5

設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	13.9	69.5	16.6	▲2.7	
当期実績		9.1	66.7	24.2	▲15.1
来期予想		-6.2	75.1	18.7	▲12.5

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	13.9	38.9	47.2		▲33.3
当期実績		26.4	50.1	23.5	2.9
来期予想		11.8	58.8	29.4	▲17.6
前年同期比		23.5	41.3	35.2	▲11.7

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	16.6	83.4		16.6	
当期実績		14.7	85.3		14.7
来期予想		-2.9	97.1		2.9

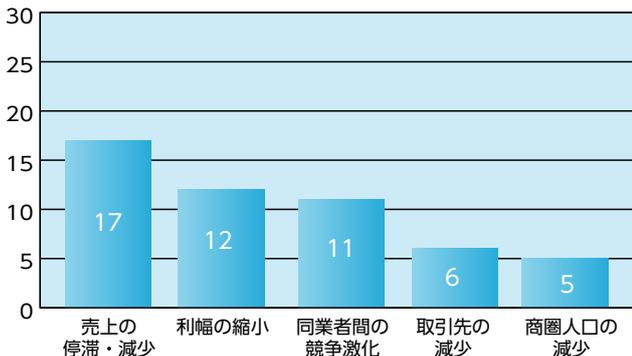
人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	13.9	69.5	16.6	▲2.7	
当期実績		-5.9	79.4	14.7	▲8.8
来期予想		12.1	75.8	12.1	0.0

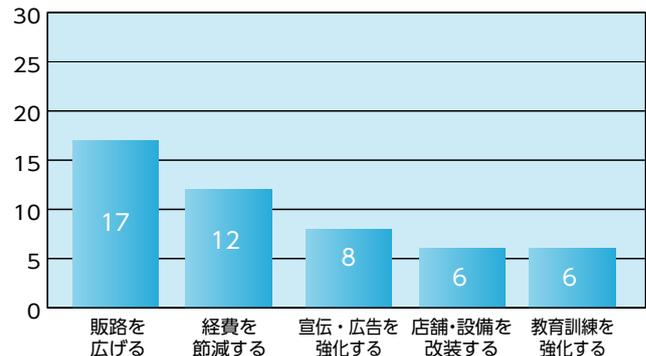
当期実績…24年10~12月期
来期予想…25年 1~3月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.8 ポイント改善の 12.5 となりました。

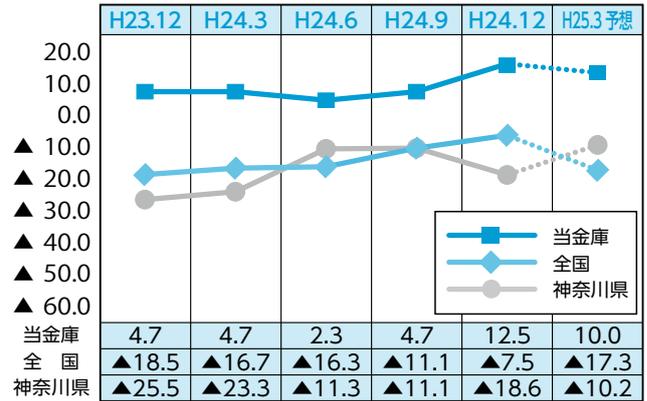
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 6.8 ポイント悪化の 14.6、収益 D.I. はほぼ横這いの▲2.4、資金繰りは 0.5 ポイント悪化の▲19.5 となっております。

また、下記項目以外では、受注残は 17.2 ポイント増加の 21.9 と、一部企業においては公共工事や民間の大型工事などの受注が堅調なことから、人手については▲39.0 と不足感は根強いものの、材料価格、建築資材価格の高止まりに加え、材料仕入代金の先行により資金繰りに苦慮する企業も見受けられます。

なお、全国は 3.6 ポイント改善の▲7.5 となっております。神奈川県は 7.5 ポイント悪化の▲18.6 となっております。

来期の予想業況判断は、10.0 と 2.5 ポイントの悪化が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	33.3	54.8	11.9		21.4
当期実績	34.1	46.4	19.5		14.6
来期予想	29.2	56.2	14.6		14.6
前年同期比	36.5	39.2	24.3		12.2

請負価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.1	76.3	16.6	▲9.5
当期実績	4.9	85.4	9.7	▲4.8
来期予想	4.8	90.4	4.8	0.0

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	4.8	88.1	7.1	▲2.3
当期実績	2.5	90.2	7.3	▲4.8
来期予想	2.4	87.9	9.7	▲7.3

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	2.4	54.8	42.8	▲40.4
当期実績	4.9	51.2	43.9	▲39.0
来期予想	2.5	53.6	43.9	▲41.4

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	14.3	69.1	16.6		▲2.3
当期実績	14.6	68.4	17.0		▲2.4
来期予想	24.4	63.4	12.2		12.2
前年同期比	26.8	51.2	22.0		4.8

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	21.4	78.6		21.4
当期実績	19.5	80.5		19.5
来期予想	19.5	80.5		19.5

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	9.5	62.0	28.5	▲19.0
当期実績	7.3	65.9	26.8	▲19.5
来期予想	9.8	56.1	34.1	▲24.3

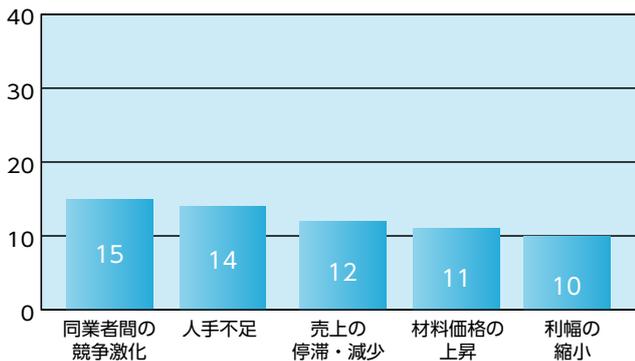
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	88.1	11.9		▲11.9
当期実績	90.3	9.7		▲9.7
来期予想	92.5	7.5		▲7.5

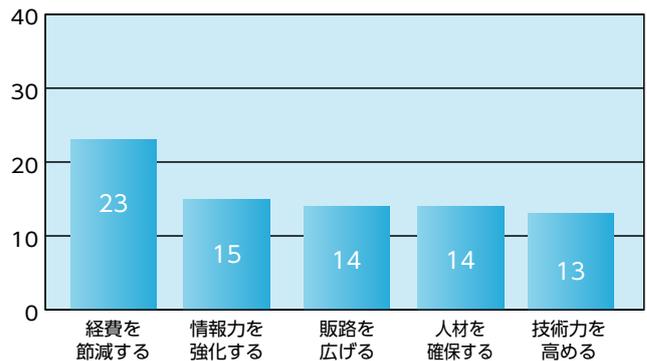
当期実績…24年10~12月期
来期予想…25年 1~3月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

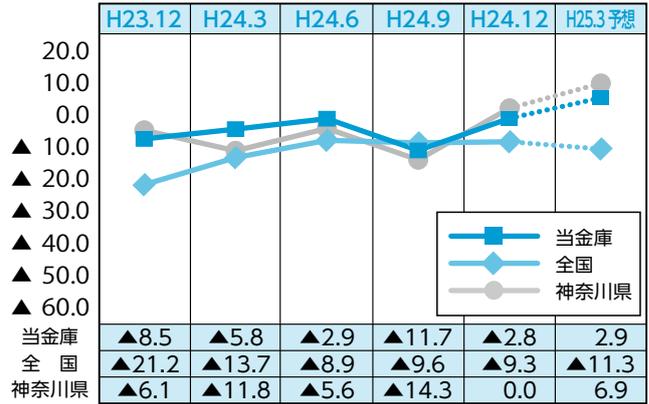
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 8.9 ポイント改善の▲2.8 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 22.9 ポイント悪化の▲17.1、収益 D.I. はほぼ横這いの▲11.4、資金繰りは 5.6 ポイント悪化の▲8.5 となっております。消費税率引上げ前の駆け込み需要を見込み、商品仕入れによる在庫確保の動きがあるものの、物件の不足を経営上の問題点とする企業の割合は半数以上であることより、消費税率引上げの動きを注視するとともに、情報力の強化が課題となっております。

なお、全国は 0.3 ポイント小幅改善の▲9.3 となっており、神奈川県は 14.3 ポイント改善の 0.0 となっております。

来期の予想業況判断は、5.7 ポイント改善の 2.9 とプラス域に転じる予想となっております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	26.4	53.0	20.6		5.8
当期実績	14.3	54.3	31.4	▲17.1	
来期予想	20.0	57.2	22.8	▲2.8	
前年同期比	25.7	54.3	20.0	5.7	

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.0	67.6	29.4	▲26.4
当期実績	2.9	71.4	25.7	▲22.8
来期予想	2.9	71.4	25.7	▲22.8

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.8	38.2	50.0	▲38.2
当期実績	8.6	54.3	37.1	▲28.5
来期予想	8.6	45.7	45.7	▲37.1

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	94.2	5.8		▲5.8
当期実績	2.9	85.7	11.4	▲8.5
来期予想	2.9	85.7	11.4	▲8.5

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	14.7	58.9	26.4		▲11.7
当期実績	17.1	54.4	28.5	▲11.4	
来期予想	17.1	65.8	17.1	0.0	
前年同期比	25.7	45.8	28.5	▲2.8	

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	6.1	81.8	12.1	▲6.0
当期実績	2.9	85.7	11.4	▲8.5
来期予想	2.9	80.0	17.1	▲14.2

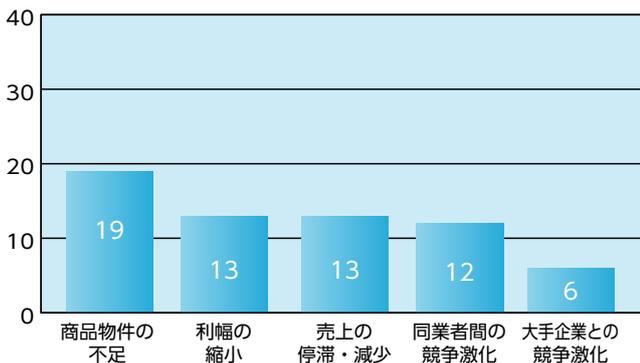
資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.8	73.5	14.7	▲2.9
当期実績	14.3	62.9	22.8	▲8.5
来期予想	8.6	71.4	20.0	▲11.4

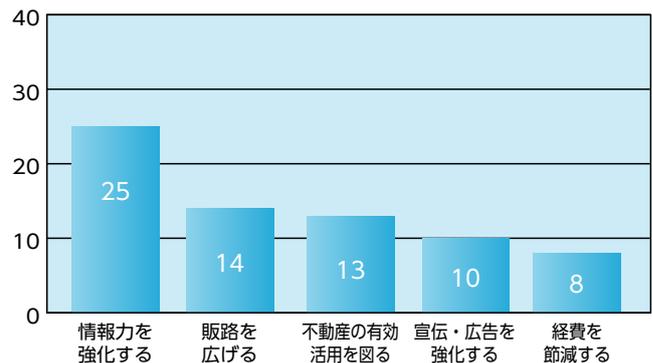
当期実績…24年10~12月期
来期予想…25年 1~3月期

良い、増加、上昇、過剰、楽
 普通、変わらず、適正
 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 254 社にお願いして特別調査を実施しました。

問1. 貴社では、平成25年度の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1位 やや悪い 94社 | 5位 非常に悪い 11社 |
| 2位 悪い 72社 | 6位 良い 3社 |
| 3位 普通 49社 | 7位 非常に良い 1社 |
| 4位 やや良い 14社 | |

問2. 貴社では、平成25年度の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1位 やや悪い 96社 | 5位 良い 4社 |
| 2位 普通 87社 | 6位 非常に悪い 3社 |
| 3位 悪い 36社 | — 非常に良い 0社 |
| 4位 やや良い 18社 | |

問3. 平成25年度において貴社の売上額の伸び率は、平成24年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1位 変わらない 100社 | 6位 20～29%の減少 7社 |
| 2位 10%未満の減少 60社 | 7位 30%以上の増加 3社 |
| 3位 10%未満の増加 34社 | 7位 30%以上の減少 3社 |
| 4位 10～19%の増加 18社 | 9位 20～29%の増加 2社 |
| 5位 10～19%の減少 16社 | |

問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1位 業務改善の見通しは立たない 75社 | 5位 すでに上向いている 17社 |
| 2位 1年後 48社 | 5位 2年後 17社 |
| 3位 6か月以内 37社 | 5位 3年後 17社 |
| 4位 3年超 25社 | |

問5. 貴社では、平成25年以降を見通した場合、どのような経済的ないし社会的事象が経営に影響を及ぼすと考えますか。次の1～0の中から最大3つまでお答え下さい。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1位 消費税率の引上げ 156社 | 6位 円高の長期継続 38社 |
| 2位 国内政局の混迷 102社 | 7位 海外経済の減速 26社 |
| 3位 原材料価格・資源価格の高騰 66社 | 7位 電力供給不安の長期化 26社 |
| 4位 企業の海外移転による国内産業の空洞化 39社 | 9位 アジア諸国との関係悪化 24社 |
| 4位 廃業・倒産の増加 39社 | 10位 その他 5社 |

経営のポイント! 『資金繰り④』

資金繰りに関する最終回として、前号・前々号に引き続き貸借対照表から資金(お金)が不足する原因について考えてみましょう!

原因その3 固定資産が増える。

固定資産とは土地や建物、機械・設備、福利厚生のためのリゾート会員権やゴルフ会員権などの投資有価証券が該当します。これら高額な固定資産をフル稼働させて投資額以上の利益を生みだせば手元の資金は増加し、逆に購入した固定資産により利益が生まれなければ、無駄なものを買ったということでお金は確実に手元からなくなります。

つまり、『売上向上に貢献する』『投資以上のリターンを生む』資産だけを持つ。これが経営の大原則です。

そこで、当社の固定資産は同業他社と比べて適正かどうかを示す1つの指標として有形固定資産回転率という指標があります。

◎**有形固定資産回転率=売上高÷有形固定資産(回)** ※計数が大きいほど効率的であるといえる

業種ごとに適正な回転率は異なりますので、同業種の平均計数と自社計数を比較されたい方は、お気軽にお問い合わせください。中栄信用金庫が経営のお手伝いをいたします!!

